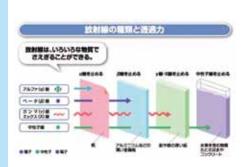
のたからのお知らせ 山本組合総合病院

孝 英 放射線科科長



放 射 あ





放射線と放射 が質は文字語 が質は文字語 が変出す能力 が変出す能力 が変出す能力 が変出す能力 が変出す能力 が変出す能力 が変出す能力 が変出す能力 が変われる。 がでしる。 がでしる

= 1 Svと考えて差し支えの程度を表す単位をSvにして)、ヒトが放射線をCれだけ吸収されたかをCれだけ吸収されたかをCれだけ吸収されたかをCれだけ吸収されたかをCれだけ吸収されたかをCれだけ吸収されたかを

類渦

に能

により)

そを

はものを突き抜ける能力(透過持っていますが、放射線の種類 が物質にどれだけ吸収されたか が物質にどれだけ吸収されたかが物質にどれだけ吸収されたかが物質にどれだけ吸収されたかが動物では では1 Gy=1 Svと考えて差しすでは1 Gy=1 Svと考えて差しすい。 (線量)を受けたかが重要ではっ、放射線の影響を考える場合、放射線は目に見えず、臭いもなく、五感に感じないもいもなく、五感に感じないもいもなく、五感に感じないもにもたくさん存在しています。(放射線測定器を用いれば音で感じ数値で見ることはは音で感じ数値で見ることはは音で感じ数値で見ることはできまれており、ラドン・ランム等の温泉、蛍光塗料等に含まれており、ラドン・ラに含まれており、ラドン・ラにも微量な放射線は存在していまな、異ないものですが、私たちの身の回りに含まれており、ラドン・ランム等の温泉、蛍光塗料等にも微量な放射線は存在していまない。

活影れでりク こSv平い し響らも放でこと/均ま てにの放射ののに年です。 い関検射線を部にして、2.4°。 放Sv れ 15 線年は 自 線と なばいまの 私たちはあび \exists る くます透 放 本で L こと や自 射 は 平

ま線べた単しす

線量のスケール Gy (グレイ): 各々の部位における複収機量 人工放射線 自然放射線 8 がん治療 海療能的のみ 宇宙から0.4m5v 大地から0.5 m5v 心臓カテーテル **X45** ラドンから1.2m5v 章物から0.3 mSv 継水晶体の白海 適血系の機能低下 がんの過剰発生が 認められない インドノケララ 自然放射線 年間 CT/1图 1人当たりの自然放射線 (年間2-4m5v)世界平均 1人当たりの会然放射線 (単第1.5mSv)日本平均 胃のX線 精密検査(1回) 0.1 m5v ニューヨーク「往復」 胸のX線 集団検診(1回) (温度による宇宙線の増 0.01 mSv 由科提供 出典: UNSCEAR2000年報告書。 ICRP2007年勧告。 日本放射線技師会医療被ばく 軽水型原子力発電所用辺 の線量目標値(年間) Sv (シーベルト): がん, 遺伝性影響に対する 防護のための実効線量 (実際にはこの目標値を 大幅に下記っています) ラインなどより

こなく毎 がんの等 な放りちの 均 7 7 い1.5世 日線は治にド 生のこ療よッ るm界